

ブラジル金融政策（2022年3月）

利上げ幅は縮小も、断固とした金融引き締め姿勢を継続

2022年3月17日

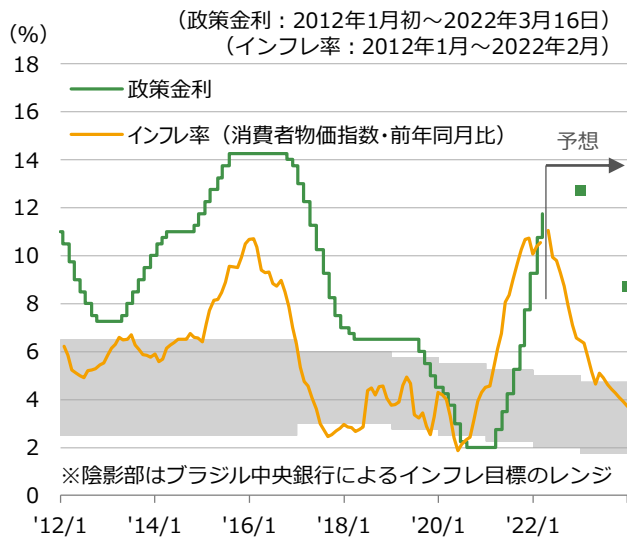
ウクライナ情勢の緊迫化は資源価格高騰と利上げ継続でリアル高要因に

ブラジル中央銀行は3月16日（現地）、金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を10.75%から11.75%に引き上げることを決定しました。前回会合の声明文で示唆していた通り、利上げ幅が過去3会合の1.50%ポイントから1.00%ポイントに縮小されました。利上げは1年前の3月から9会合連続で、累計の利上げ幅は実に9.75%ポイントになりました。

声明文では、ウクライナ情勢の緊迫化はインフレ圧力を一段と高める要因であり、またインフレ見通しのリスクが上振れ方向に傾いていることなども考慮して、今回の利上げを決定したと説明しています。今後については、「次回会合でも同程度の政策金利の調整を予測する」と述べ、次回5月会合も1.00%ポイントの利上げ幅になることを示唆しています。なお、現下の様々な商品市場における供給ショックが予想より長引くかその影響が大きい場合には、利上げ幅を拡大させる準備があることも付言しています。

ウクライナ情勢の緊迫化は、世界的に市場心理を悪化させた一方、ブラジルはロシアやウクライナとの地理的・経済的な結びつきが薄いことなどから、資源価格高騰による貿易収支改善への期待の方が強く影響し、ブラジル・レアルの堅調な推移につながりました。また、ブラジル中銀がインフレ抑制に向けて断固とした金融引き締め姿勢を示していることもレアルの下支え要因になっています。

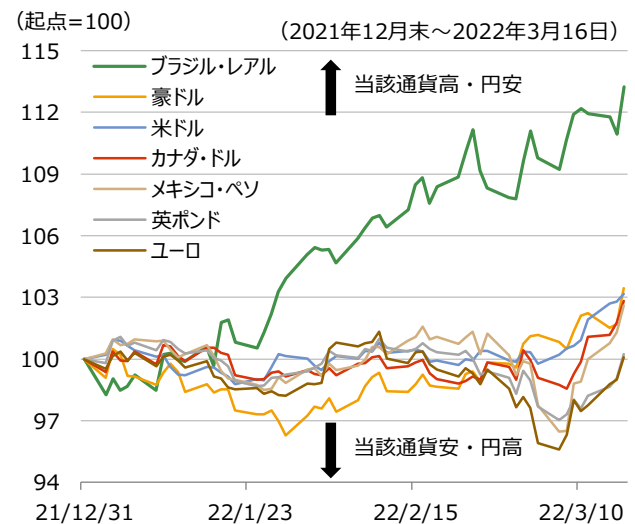
ブラジルの政策金利とインフレ率



※予想はブラジル中央銀行によるエコノミスト調査に基づく
※政策金利の予想は2022年末と2023年末
※インフレ率の予想は2022年4月～2023年12月

(出所) ブラジル中央銀行、ブルームバーグ

各通貨の対円レート



(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management